



明石小の伝統をつないでゆく

校長 長井 佐智夫



ゆずり葉 河合 醉茗

子供たちよ。

これはゆずり葉の木です。

このゆずり葉は

新しい葉が来ると

入り代わってふるい葉が落ちてしまうのです。

こんなに厚い葉

こんなに大きい葉でも

新しい葉が来ると無造作に落ちる

新しい葉にいのちをゆずって――

子供たちよ

お前たちは何をほしがらないでも

すべてのものがお前たちにゆずられるのです。

太陽のめぐるかぎり

ゆずられるものは絶えません。

かがやける大都会も

そっくりお前たちがゆずり受けるのです。

読みきれないほどの書物も

みんなお前たちの手に受け取るのです。

幸福なる子供たちよ

お前たちの手はまだ小さいけれど――

世のお父さん、お母さんたちは

何一つ持ってゆかない。

みんなお前たちにゆずってゆくために

いのちあるもの、よいもの、美しいものを、

一生懸命に造っています。

今、お前たちは気が付かないけれど

ひとりでのいのちは延びる。

鳥のようにうたい、花のように笑っている間に

気が付いてきます。

そしたら子供たちよ。

もう一度ゆずり葉の木の下に立つて

ゆずり葉を見る時が来るでしょう。

いよいよ明日から今年度最後の一か月、3月を迎えます。気温も一気に春を感じる暖かさとなるようです。

上の詩「ゆずり葉」をご存知の方も多いのではないかと思います。かつて小学校6年の国語の教科書の最後に掲載されていた詩です。私はいつもこの時期に、この詩を思い出します。しかしながら昨今の争いごとが絶えない状況を見るにつけ、大人の責任として次世代の子どもたちに恥ずかしくないものを造りゆずっていかなくてはならないと思うばかりです。

そして、この時期には学校でも同じように、児童会や委員会において6年生から5年生へ引き継いでいく活動を行っています。あと一月で卒業する6年生が5年生をはじめとする下級生に、明石小で培ったものをその姿で伝えてほしいと願っています。

保護者の皆様、地域の皆様、本年度も明石小をサポートしていただきまして、誠にありがとうございました。来年度もまた温かく見守っていただければ幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。



お知らせ

令和5年度の本校の宿泊を伴う学校行事の日程について

- ◆5年自然学校 6月23日(金)～27日(火) / 代休 28日(水) 29日(木)
- ◆6年修学旅行 6月15日(木) 16日(金)

その他の行事につきましては4月以降にお知らせします。

卒業を前に思うこと

わたしが卒業するまでにがんばりたいことは、2つあります。

1つ目は、今まで習ってきたことの復習です。中学校に行ったら、小学校で習った分数や立体の公式などが、どんどん難しくなっていくと思うので、しっかりと覚え直して次の勉強につなげていけるようにがんばりたいです。

2つ目は、委員会に新しく入る新5年生と新6年生に、きちんと放送の仕事を受けついでもらうことです。今、わたしは放送委員会に入っています。わたしが、放送委員会に入ったばかりで、機械操作が全然分からなくて困っていたときに、教えてくれた6年生の先輩みたいに、わたしと同じように、初めて委員会に入る人たちに、しっかりと機械操作を教えたいと思います。もうすぐ、卒業ですが、残りの時間も大切にがんばっていきたいです。



ぼくは、もう少しで卒業します。もう少しで卒業するのが悲しいです。理由は小学校で色々なことがあって、とても楽しい毎日でした。でも、卒業すると今までに仲の良かった友だちと離れ離れになり、今までの楽しさが減ってしまうと思うからです。

ぼくは、中学校でがんばりたいことが二つあります。一つ目は、勉強です。理由は、テストがとても難しいと先輩から教えてもらったからです。二つ目は、部活動です。理由は、ぼくは、運動の部活に入部しようと思っているからです。なぜ、運動の部活に入部したいかというと、自分の将来の夢を生かすために、体力をつけたいからです。

ぼくは、明石小学校を卒業しても、学校で過ごした時間を忘れずにしたいです。中学校でも小学校で学んだことを色々活かしていきたいです。

